

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	時事英語講読	
科目基礎情報							
科目番号	0133		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	Longman Preparatory Series for the TOEIC Test, Intermediate course, 6th edition						
担当教員	西原 雅博						
到達目標							
1. ディクテーション活動を通じて、音声、綴字、理解、文法を総合的に活用にして英文理解力を高める。 2. TOEIC問題の演習を通じて、TOEICの問題傾向に対応できる英語力を身に付ける。 3. TOEIC問題の中でもPart 5の文法、語法に関する問題への対応力を身に付ける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
ディクテーション力		ディクテーション活動を通じて、音声、綴字、理解、文法を総合的に活用にして正確に英文を理解することができる。		ディクテーション活動を通じて、音声、綴字、理解、文法をおよそ総合的に活用にして英文を理解することができる。		ディクテーション活動を通じて、音声、綴字、理解、文法を活用して英文を理解することができない。	
TOEIC対応力		TOEIC問題の演習を通じて、TOEICの問題傾向に適切に対応できる英語力を身に付けている。		TOEIC問題の演習を通じて、TOEICの問題傾向におよそ対応できる英語力を身に付けている。		TOEIC問題の演習を通じて、TOEICの問題傾向に対応できる英語力を身に付けていない。	
文法、語法力		Part 5の文法、語法に関する問題に適切に対応することができる。		Part 5の文法、語法に関する問題におよそ対応することができる。		Part 5の文法、語法に関する問題に対応することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要		授業は、前期のビジネス英語と本講義を通じて、TOEICに対応できる英語力を身に付けることを目標としています。そのために、リスニング（ディクテーションを中心とした）、文法、読解問題をバランスよく学習していきます。					
授業の進め方・方法		まず、授業の冒頭で約10分間のディクテーションをテキストの内容に基づいて行い、その結果は各自で正確に添削します。続いて、テキストを使ったTOEIC問題の演習を行い、リスニング、文法、読解力の実践力を涵養することを目指します。学生には毎週一定量のホームワークがテキストから出され、これらを準備してくることが求められます。評価は中間考査と期末考査に基いて行われます。					
注意点		本科目では、60点以上の評価で単位を認定します。評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができます。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とします。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバスの説明、TOEIC模擬テスト①リスニング：100問		授業も目的を把握すること。TOEIC模擬テストを時間内に終えることができること。		
		2週	TOEIC模擬テスト①リーディング：100問		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		3週	Part 1 & 3, Part 5 & 6		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		4週	Part 2 & 4, Part 6 & 7		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		5週	Part 1 & 3, Part 5 & 7		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		6週	Part 2 & 4, Part 5 & 6		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		7週	Part 1 & 3, Part 6 & 7		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		8週	Part 2 & 4, Part 5 & 7		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
	4thQ	9週	中間考査		授業で学んだ内容について考査する。		
		10週	答案返却 Part 1 & 3, Part 5 & 6		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		11週	Part 2 & 4, Part 6 & 7		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		12週	Part 1 & 3, Part 5 & 7		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		13週	TOEIC模擬テスト②リスニング：100問		ディクテーション、TOEIC小テスト、文法学習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		14週	TOEIC模擬テスト②リーディング：100問		ディクテーション、TOEIC演習を通じてTOEIC対応力を身に付ける。		
		15週	期末試験		授業で学んだ内容について考査する。		
		16週	成績確認とまとめ		成績の確認、及び、学習内容を整理し総合することができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	50	0	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0